Express5800/MW300g-,MW500g-WEBMAIL-X(by WitchyMail) 20同時接続ライセンス

UL4015-10A

セットアップカード

ごあいさつ

　このたびは、Express5800/MW300g-,MW500g- WEBMAIL-X(by WitchyMail) 20同時接続ライセンス（以下、WEBMAIL-X 20同時接続ライセンス）をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。

　本書は、お買い上げいただいたセットの内容の確認、セットアップの内容を中心に構成されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みください。

UL4015-10A

856-127703-066-A

目次

１章　セットアップの準備

本製品をご使用になるためには、まず、お手持ちのExpress5800/MW300g以降、または、MW500g以降(以下、“MWサーバ本体”と略します)に、本製品のユーザライセンスを登録していただく必要があります。
あらかじめ、添付されているライセンス申請シートを登録申請していただき、「ライセンス発行証」を入手してください。

本製品のセットアップには、以下の環境などが必要になります。

(1) MWサーバ本体
(2) MWサーバ本体にブラウザ経由でアクセスできるクライアントPC
(3) 「ライセンス発行証」
本製品に添付されているライセンス申請シートを使い、登録申請することで返送されます。MWサーバへのセットアップを実施する前に、あらかじめご準備ください。詳細は２章をご覧ください。
(4) 「WitchyMail管理者マニュアル」
本マニュアルは、MWサーバ本体に添付されているバックアップDVDの“/nec/doc/500(または300)/witchymail/V40_Management_manual.pdf”に格納されています

※MWサーバ本体へは、Management Consoleを使用してアクセスします。
※ご使用になるブラウザは、Microsoft® Internet Explorer 6.0 sp2およびInternet Explorer 7.0 以上を推奨します。

【重要】WEBMAIL-X ではメールデータの保存場所に応じて、以下の２種類の動作形式（プロトコル）をサポートしています。お客様のシステム環境にあった動作形式を選択してください。

○　IMAP接続形式（こちらの利用を推奨いたします）
メールデータをメールサーバ側に保存する形式です。
MWサーバ本体のメールサーバ機能とWEBMAIL-X機能との通信はこちらで実現しています。
MWサーバ“以外”のメールサーバと WEBMAIL-X機能が『IMAP接続』で通信することも可能です。
こちらを選択する場合は、プレインストールされたWEBMAIL-Xをそのままご利用ください。

○　POP接続形式
メールデータをWEBMAIL-X側に保存する形式です。
MWサーバ本体“以外”のメールサーバと WEBMAIL-X機能が『POP接続』で通信する場合は、こちらを選択してください。
こちらは、WEBMAIL-X を再インストールする必要があります。詳細は４章をご覧ください。

２章　ライセンス申請シートの送付

WEBMAIL-Xを使用する場合、事前にライセンス申請を行って頂く必要があります。
以下を参考にライセンス申請シートを記入し、ライセンス申請シート上部にある送付先宛まで送付してください。受付完了から１４日迄を目処に「ライセンス発行証」シートを宅配便で返送いたします。

(1) ライセンス申請シートの確認
ライセンス申請シートの表題から、申請する“ライセンス数”、“ライセンス形態”を確認してください。

(2) 製品情報欄への記入
製品情報記入欄へ、以下の項目を記入してください。
・サーバの種類
WEBMAIL-Xがメールサーバよりメールを取り出す際に用いる動作形式（プロトコル）を、１章を参考に POP、IMAP のいずれかを選択してください。
・サーバ機種名
ライセンス登録対象のMWサーバ本体の機種名にチェックを入れてください。

(3) ライセンスキー送付先欄への記入
ライセンスキー送付先欄の全ての項目に対し記入してください。

ライセンス数、ライセンス形態を確認

記入日　年　月　日

WEBMAIL-X(by WitchyMail) 20同時接続ライセンス申請シート

このたびはWEBMAIL-X(by WitchyMail)製品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。
ライセンスキーを発行致しますので、ご記入のうえ、上記宛先にご送付ください。

製品情報

製品名	WEBMAIL-X(by WitchyMail)	ID	
サーバの種類	□POPサーバ □IMAPサーバ	ライセンス数	☑20
オプション	☑外部POPオプション☑携帯オプション ☑LDAPオプション☑LiteAccessオプション	サーバ機種名	□MW300g- □MW500g-

WEBMAIL-Xが、メールサーバと通信するプロトコルを選択

WEBMAIL-Xライセンスを登録するMWサーバ本体の機種名を選択

送付先				
	(ふりがな)			
	登録団体名			
	(ふりがな)			
	住所	〒		
	部署名			
	(ふりがな)		E-Mailアドレス	
	ご担当者名			
	電話番号		FAX番号	

３章　WEBMAIL-X 20同時接続ライセンスの登録方法

この章では本製品の登録方法を記します。

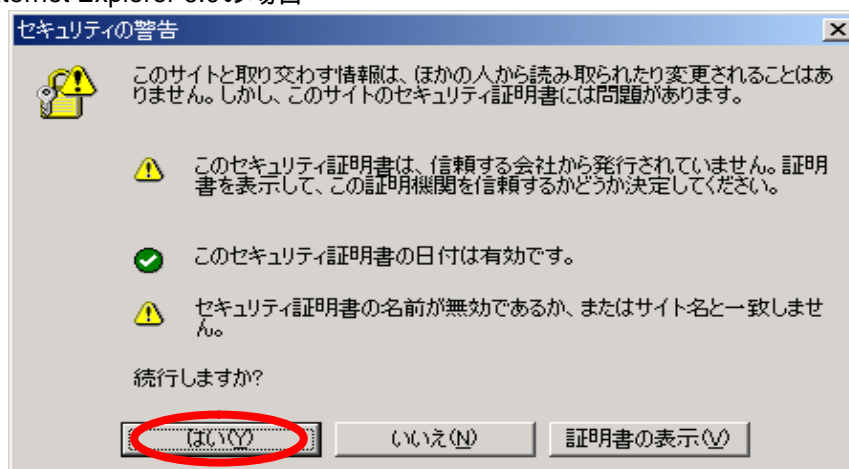
【重要】 POP接続を選択する場合は、先に４章を実施してください

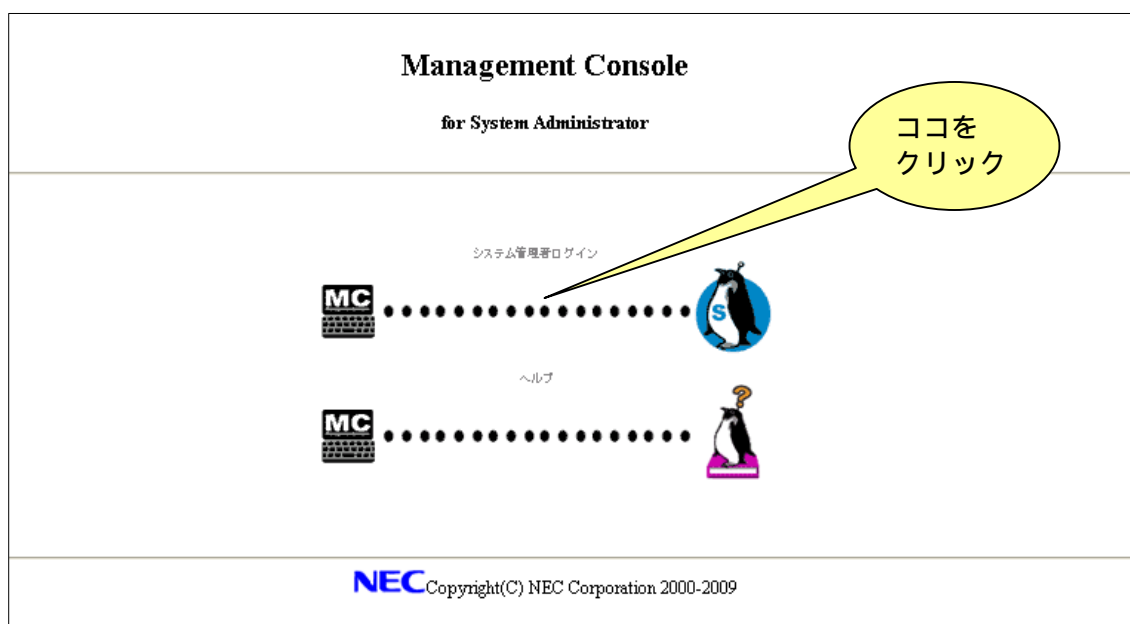
(1) WEBMAIL-X 20同時接続ライセンスを、MWサーバ本体に登録します。

ブラウザからManagement Consoleを使ってMWサーバ本体へアクセスします。セキュリティレベルの選択によっては、アクセスすると以下の画面が表示されますので、Internet Explorer 7.0を利用されている場合は、このサイトの閲覧を「続行する」をクリックしてください。

Internet Explorer 6.0を利用されている場合は、[はい]をクリックして先に進んでください。

Internet Explorer 7.0の場合

Internet Explorer 6.0の場合

【ご注意】
「セキュリティの警告」画面は、Management Consoleへのアクセス方法にセキュアな設定(https)でアクセスした時のみ表示されます。httpでアクセスする場合は表示されません。
Management Consoleへのアクセス方法の変更については、MWサーバ本体のユーザーズマニュアル（ソフトウェア編）をご参照ください。

(2) Management Consoleのトップページが表示されます。
[システム管理者ログイン]をクリックして、ログイン画面を表示させてください。

(3) MWサーバ本体にログインするためのダイアログボックスが表示されます。
正しいユーザ名とパスワードを入力してログインしてください。

(4) サービス画面の「WEBMAIL-Xサーバ（webmail-httpd）」をクリックしてください。

【参考】
MWサーバ本体は､WEBMAILサーバ機能として｢WEBMAIL-EXT｣と｢WEBMAIL-X｣を選択して使用できます。初期状態では「WEBMAIL-X」がデフォルト設定されていますが、「WEBMAIL-EXT」が選択されている場合は、サービスを切り替える必要があります。

(5) WEBMAILサーバの選択でWEBMAILサービスを｢WEBMAIL-X｣に選択されていることを確認します。設定されていない場合は、「WEBMAIL-Xを使用する」を選択し［設定]をクリックしてください。
切り替え後の、詳細な設定やWEBMAIL-Xの使用方法は、MWサーバ本体に添付されているユーザーズガイド(ソフトウェア編)の「WEBMAILサーバ機能」を参照してください。

(6) WEBMAIL-Xのサーバ準備が整った後、WEBMAIL-Xに接続し管理画面を表示させます。

WEBブラウザからWEBMAIL-Xに接続する時は、以下のURLを指定してください。

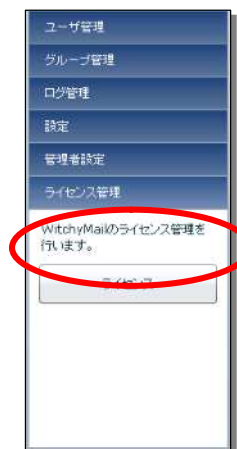
－http://実ホスト名(FQDN形式):10080/manager/　(SSL未使用時)

－https://実ホスト名(FQDN形式):10443/manager/　(SSL使用時)

(7) WEBMAIL-X管理画面ログインの画面が表示されます。
管理者アカウントとパスワードを入力してください。

WEBMAIL-X管理画面の初期管理者アカウントとパスワードは以下の通りです。

管理者アカウント：	root
パスワード　　　：	root

(8) WEBMAIL-Xのライセンスを登録します。
WEBMAIL-X管理画面の左のナビゲーターで[ライセンス管理]-[ライセンス]をクリックします。

(9) ライセンス管理画面が表示されますので、あらかじめ申請した「ライセンス発行証」のライセンスキーを入力し「ライセンス登録」ボタンを押下します。
下の画像で入力されているライセンスキーは入力例です
※「ライセンス発行証」は、ライセンス申請シートの申請に基づき発行（返送）されます。

(10) ライセンス管理画面からライセンス情報が更新されたことを確認してください。
追加するライセンスが他にもある場合は、続けて登録してください。ユーザ数が加算されます。

【注意】MWサーバには、出荷時に評価用としてWEBMAIL-Xの同時利用５ユーザライセンスが付属しています。ライセンスを追加登録した場合は、この５ユーザライセンスは加算されません。

【参考】ライセンス登録に失敗した場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。[ＯＫ]ボタンを押して、ライセンス情報を再度確認して、手順(9)からやり直してください。

(11) 以降は、「WitchyMail管理者マニュアル」を参考に必要事項を設定してください。

４章　POP接続を利用する場合

POP接続を選択する場合は、POP版WEBMAIL-Xパッケージ（witchymail-4.0.xx-1.pop.i386.rpm）を以降の手順でインストールする必要があります。

【重要】IMAP接続の場合は、実施する必要はありません

（POP接続とIMAP接続の違いは１章を参照してください）

本章で必要なものは、以下となります。

- Express5800/MW300g- または、MW500g- に同梱しているバックアップDVD（以下、バックアップDVDと略します）
- ライセンス発行証明(ライセンス申請の登録後)
- WEBMAIL-X セットアップカード（本セットアップカード）
- WitchyMail管理者マニュアル（バックアップDVD内に格納されています）
- MWサーバ本体
- MWサーバ本体にブラウザ経由でアクセスできるクライアントPC

1. IMAP 版 WEBMAIL-X パッケージをアンインストールします。

   ① telnet サービスを起動します。
   telnet サービスの起動は、Management Console(システム管理者)の[サービス]画面にて、telnet サービスを起動してください。

   ② クライアント PC から、コマンドプロンプト等を使用し、MW サーバ本体に telnet でログインします。
   ログイン名:[管理者アカウント または telnet が利用できるユーザアカウント]
   パスワード:[ログインアカウントに設定されているパスワード]
   例）
   コマンドプロンプトの場合は、以下のコマンドを実行してください。
   telnet [MW サーバ本体の IP アドレス　または　FQDN]

   ③ 以下のコマンドにて root ユーザになります。
   $ su -
   パスワード:[rootに設定されているパスワード]

   ④ 以下のコマンドを実行しアンインストールしてください。
   # rpm -e witchymail
   # rm -rf /home/witchymail/*

   ⑤ 以下のコマンドを２回実行し telnet を終了してください
   # exit　（２回実行してください）

2.　**バックアップ DVD のマウント**
バックアップDVDをMWサーバ本体にセットしてください。

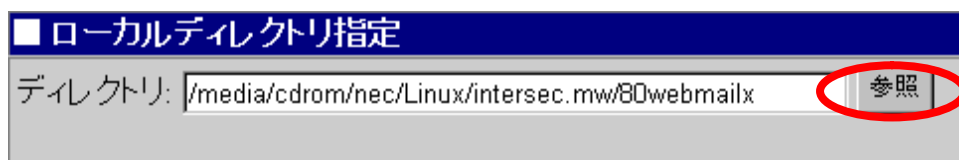
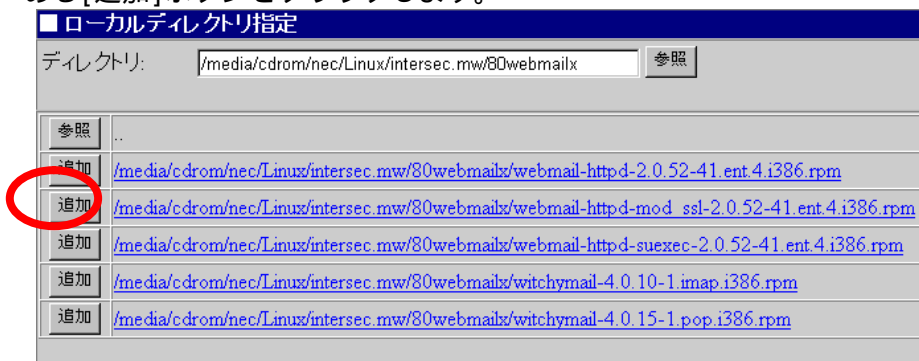
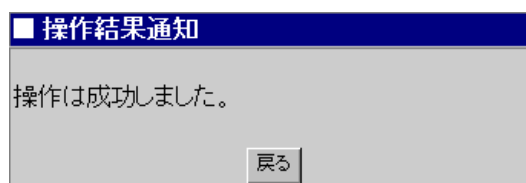
セットした状態で、Management Console(システム管理者)画面左の［ディスク］アイコンをクリックし、[ディスク使用状況]画面からDVDドライブの[詳細]をクリックすると［ディスク詳細］画面が示されます。

[接続]ボタンをクリックすると、バックアップDVDMがマウントされます。

3. POP 版 WEBMAIL-X パッケージのインストール

Management Console画面左の［パッケージ］アイコンをクリックし、[パッケージ]画面から[手動インストール]をクリックすると［手動インストール］画面が示されます。

■ [ローカルディレクトリ指定]の[参照]をクリックし、ディレクトリを指定します。

指定するディレクトリ：[/media/cdrom/nec/Linux/intersec.mw/80webmailx]

パッケージ名[witchymail-4.0.15-1.pop.i386.rpm]が表示されている行の左側にある[追加]ボタンをクリックします。

[インストールしてもよろしいですか？]とポップアップが表示されますので[OK]をクリックすると、インストールが完了し[操作は成功しました。]と表示されます。

4. バックアップDVDのアンマウント

Management Console(システム管理者)画面左の［ディスク］アイコンをクリックし、[ディスク使用状況]画面からDVDドライブの[詳細]をクリックすると［ディスク詳細］画面が示されます。
[切断]ボタンをクリックすると、バックアップDVDがアンマウントされます。

■ディスク詳細

	現在の状態	ファイルシステム	容量 (MB)	使用中 (MB)	空き (MB)	使用率 (%)	マウントポイント
切断	接続中	/dev/cdrom	1,560.7	1,560.7	0	100%	/media/cdrom

MWサーバ本体のDVDドライブのイジェクトボタンを押し、バックアップDVDを取り出してください。

5. ライセンスの登録

第３章を参照して、ライセンスの登録及び初期設定を行ってください。

５章　注意事項

(1) WEBMAIL-X 20 同時接続ライセンスは、MW サーバ本体１構成にのみインストール可能です。

(2) 『WitchyMail 管理者マニュアル』は、MW サーバ本体に添付されたバックアップ DVD に格納されています。
バックアップDVDの“/nec/doc/500(または300)/witchymail/V40_Management_manual.pdf”を参照してください。

(3) MW サーバには、出荷時に評価用として WEBMAIL-X の同時利用５ユーザライセンスが付属しています。なお、ライセンスを追加登録した場合は、評価用の５ユーザライセンスは加算されません。

(4) WEBMAIL-X は IMAP 接続版でインストールされています。POP 接続で利用される場合は、４章の手順に従って、POP 版 WEBMAIL-X パッケージの入れ替えを行ってください。